

平成28年度事業報告書  
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

一般財団法人日本冷媒・環境保全機構  
JRECO 情報処理センター

法第79条第2項に基づき、平成28年度のJRECO 情報処理センターの事業報告をします。

(1) 情報処理業務の実施に関する事項

①情報処理業務の内容

平成28年度の年間登録件数と平成29年3月31日現在の情報処理センターへの管理者・廃棄者、充填回収業者の登録事業所数は次のとおりである。

- ・ 登録件数（処理件数） 3,549件

平成28年度の登録数は、普及のための広報活動や説明会の開催により、前年度の約3倍に増加した。ただ、徐々に情報処理センターの認知が進んでいるとはいえ、まだ不十分なところもあり、計画数値とは大きな乖離が生じる結果となった。登録件数を見ると、年間を通して平均的に利用されているが、特に年度末や高温多湿時期の前後の時期での利用が多いことがわかる。(添付資料A)

- ・ 登録事業所数

管理者・廃棄者 6,118

充填回収業者 1,636

(なお、充填回収業者の場合、1事業所で複数の都道府県を登録している都道府県をそれぞれ個別に累計した場合は4,285)

②情報処理業務に関連する問い合わせ対応や事務処理について、適正に処理できる体制の構築と、効率的な実施

人員体制は、平成28年度事業計画の業務を遂行するために情報システム部4名体制としてシステムの適正な運用に当たり適切に対応した。また、情報処理センターの普及啓発に係る広報活動を充実するため、普及啓発部、資格認定部それぞれ1名ずつ（計2名）の兼務者を任命し、これに当たった。登録数の増加に伴い、電話やメールでの問い合わせも増え、平均して一日あたり10件程度あったが、多くの問い合わせは当日中もしくは翌日には回答完了した。こうした対応を通してノウハウの蓄積等を行い「よくある問い合わせ（FAQ）集」やマニュアルや利用ガイド類の作成、見直しを適宜行い当機構のホームページ上に公開し、ダウンロードもできるようにして利用者の便を図ってきた。また、フロン排出抑制法及び情報処理センターに関する専用ポータルサイトを開設し、情報処理センター利用の普及・促進を図った。(添付資料B)

経理に関しては、情報処理センター利用のために預託された預かり金と、情報処理センターの利用時に利用料金として当機構が収受した金銭を、収支計画書に基づき適切に管理した。なお、平成28年度情報処理センター単体での収支実績は経費が上回る状態となっているが、事業規模がかなり小規模なため、当機構全体の収支の中において十分に吸収可能なレベルであった。

## (2) 情報処理業務に用いる設備の維持及び更新の見通し

### ①機器更新や拡充等各種の機能改善の適切な実施

情報処理業務を実施するために必要な電子計算機その他の機器については、情報処理業務が事業計画内で推移したので、データ処理及びデータ容量に十分な余裕があり、機器の更新や拡充は行わなかった。現在のデータ容量の使用領域は31GB（OSなどを含む全使用容量）で使用可能領域307GBの10.1%である。

また、各種の機能改善については情報処理センターの利用者の利便性の向上や効率性を高めるため、次のようなシステム仕様の変更や追加を随時行い、継続的に改善を図り適切に実施した。

- ・ 経産省・環境省の告示の改正に合わせ使用冷媒の種類を追加した。
- ・ 情報処理センターに登録されたセンター登録申請一覧及び統括管理部署における管理組織一覧において算定漏えい量を表示させ、年度ごとの算定漏えい量を常時把握できるようにした。（添付資料C）

### ②システムの安定運用のための保守管理の実施

情報処理業務を実施するシステムは、安定した運用を図るために高いセキュリティで保護されたデータセンター内に構築し、外部からのアクセスは暗号化された通信手段やファイアーウォールによる接続制限を設けてある。

また、システム開発や維持管理業務は、外部委託による運用管理会社（専門業者）と連携し実施しており、開発内容や仕様変更など、不定期ではあるが、2～3週に一度程度の情報交換を行っている。

具体的な取組としては、情報セキュリティの観点から、JRECOからサーバーへの直接アクセスも行えない仕組み（アクセスはWeb経由のみ）としたことで、万一JRECO内の情報機器に不正アクセスやウィルス感染が発生した場合でも、情報処理センターのシステムは隔離された環境としている。さらに、不具合発生時の対応やサーバーのCPU使用率によりシステム運用状況の監視も行った。

このように、システムの安定した運用については、平成28年度中は支障なく維持されており、特段の事情の変化がない限り、平成29年度も同様のシステムを維持することを想定している。

## (3) その他必要な事項に関する事項

平成28年度は情報処理センターの認知度を上げ、利用の普及・促進を図るため下記の活動を行った。

- ・ 経済産業省から受託した「平成28年度冷媒管理技術向上支援事業（フロン排



出抑制法に関する普及啓発事業（説明会事業）」に基づき、冷凍空調機器を使用する事業者（管理者）向け説明会41回（平成28年9月26日から平成29年2月28日）、業種・団体別説明会22回（平成28年11月17日から平成29年2月21日）が開催されたが、合計63回の説明会において「情報処理センターの利用と電子的な情報管理」について説明を実施した。（添付資料D）

- ・ 全国主要都市で計10回（平成28年5月18日から平成28年6月1日）開催された環境省の「フロン類算定漏えい量報告・公表制度 説明会」において情報処理センターの利用について説明を実施した。（添付資料E）
- ・ 情報処理センターの利用に関する説明会を東京中心に全国主要都市で計58回開催（参加者数721名）、他にも利用者の要請による個別説明会を開催した。
- ・ 分かり易い提案説明書を作成し、ビル管理会社、スーパー等小売業者、製造業者、食品加工業者、大学、病院をはじめとする潜在利用者70社・団体以上を個別に訪問、紹介と説明を実施した。
- ・ 雑誌（「東冷協だより」及び「冷凍空調設備」）への広告掲載を前年度より継続的に行い情報処理センターの周知を図った。（添付資料F、G）
- ・ 新聞広告（平成28年9月21日、平成29年3月15日付け「空調タイムス」）を出稿した。（添付資料H）
- ・ 電車内に広告掲載をした。（添付資料I）
- ・ フロン排出抑制法及び情報処理センターに関する専用ポータルサイトを開設した。
- ・ 情報処理センター紹介の動画を再作成し、ホームページに掲載した。

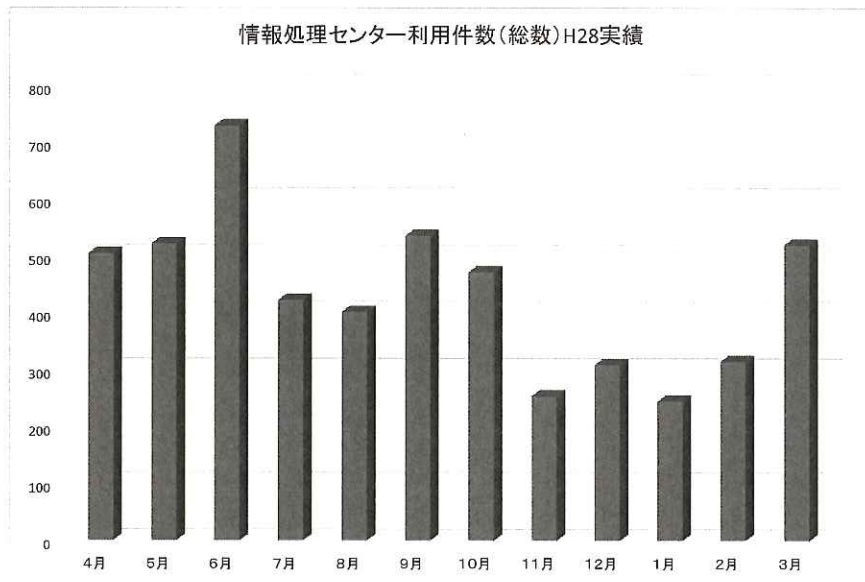
[添付資料]

- A. 情報処理センター利用実績
- B. フロン排出抑制法及び情報処理センターに関する専用ポータルサイト
- C. 統括管理部署における管理組織一覧において算定漏えい量の表示サンプル
- D. 平成28年度フロン排出抑制法に関する普及啓発事業説明会開催結果
- E. 平成28年度フロン類算定漏えい量報告・公表制度説明会開催日程
- F. 雑誌広告（東冷協だより）
- G. 雑誌広告（冷凍空調設備）
- H. 新聞広告（空調タイムス）
- I. 電車内広告（京成線、都営三田線）

情報処理センター平成28年度利用実績

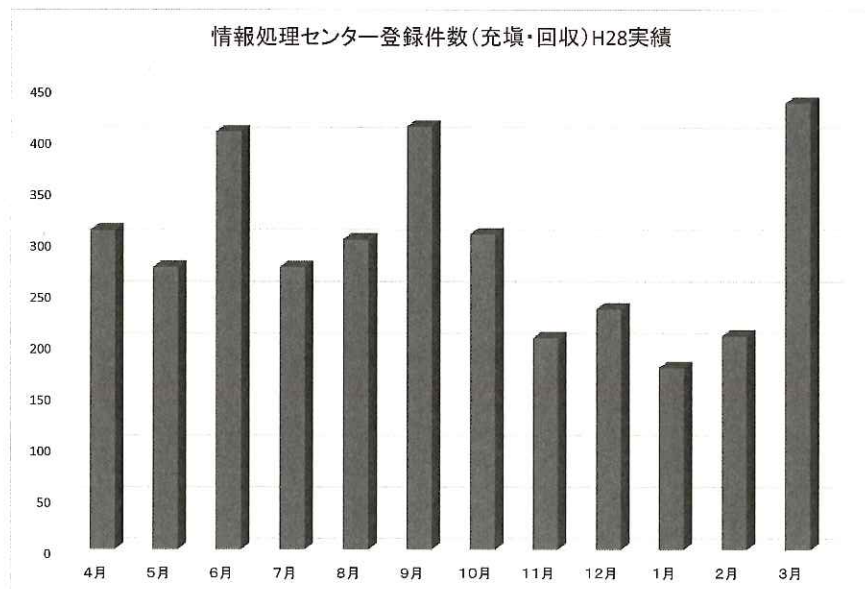
平成28年度 情報処理センター利用件数(総数)H28実績

|     |       |
|-----|-------|
| 4月  | 505   |
| 5月  | 522   |
| 6月  | 730   |
| 7月  | 423   |
| 8月  | 402   |
| 9月  | 536   |
| 10月 | 472   |
| 11月 | 254   |
| 12月 | 309   |
| 1月  | 245   |
| 2月  | 315   |
| 3月  | 520   |
| 計   | 5,233 |



平成28年度 情報処理センター登録件数(充填・回収)H28実績

|     |       |
|-----|-------|
| 4月  | 311   |
| 5月  | 275   |
| 6月  | 407   |
| 7月  | 275   |
| 8月  | 302   |
| 9月  | 412   |
| 10月 | 307   |
| 11月 | 206   |
| 12月 | 234   |
| 1月  | 177   |
| 2月  | 208   |
| 3月  | 435   |
| 計   | 3,549 |





### フロン排出抑制法とは？

平成27年4月1日にフロン法が改正され、「フロン排出抑制法」として全面施行されました。この法律では、フロンのライフサイクルに携わるすべての主体に、法令の遵守を求めています。特に管理者（業務用冷凍空調機器の所有者・使用者）の皆さまに多くの法律上の義務が課せられています。

#### フロン排出抑制法で義務化された作業内容

まず、使用しているすべての機器1台ごとに、点検・整備記録簿（ログブック）を作り、その機器を廃棄するまで、必ず行わなければならない簡易点検・定期点検等で記載しなければならない事項を記録し、保存しなければなりません。さらに、廃棄時には行程管理票も必要となります。そして、都道府県の立ち入り検査等の求めに応じて、それらを速やかに開示しなければなりません。

また、点検・整備時に機器に充填されているフロンの、回収・充填が行われた場合、充填回収業者から交付される充填証明書・回収証明書に記載された量の差から計算される、算定漏えい量（それぞれのフロンがもつ固有の温暖化係数をかけて、二酸化炭素換算のトンとして算出される）と、機器の算定漏えい量を算出し、生じます。この報告では、都道府県に提出します。一方、充填回収業者には充填の



- YouTube 日設連チャンネル 新着情報
- ご利用者様の導入事例を掲載しました
- 平成27（2015）年度フロン類算定漏えい量の集計結果が公表
- よくある質問（FAQ）



## <フロン類算定漏えい量> 報告業務、事務作業を簡単にするRaMS

### <フロン類算定漏えい量> 報告業務・事務作業を簡単にするRaMS

<フロン類算定漏えい量> 報告業務、事務作業の流れページにて解説したように、年度内におけるフロン類の排出量が1,000-CO2以上になってしまった場合には、国に対して報告が必要となりますが、RaMSによって充填、回収の情報を登録しておく、報告書作成における手数が大幅に省くことができます。

即ち、算定漏えい量報告書の作成においては、定められた書式により、設備が設置された都道府県ごとに、またフロン類の種類ごとに、実漏えい量と算定漏えい量（実漏えい量に温暖化係数を乗じた量）の集計値を記載した資料を添付します。

この資料作成に伴う労力軽減のために「フロン排出抑制法」第三十八条に「情報処理センター」の規定が設けられ、充填・回収に関する情報をインターネット上の「情報処理センター」に登録（記録）すれば書面による充填・回収証明書の交付は不要とする旨が定められました。

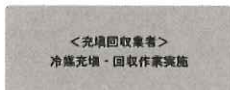
「情報処理センター」は国の認可事業であり、この認可を得た当機構では同センターの機能を拡張して電子版の点検・整備記録簿（ログブック）を作成し、充填・回収以外の点検や修理の情報を含めて電子情報として登録（記録）できる冷凍管理システム「RaMS（ラムズ）」を構築しました。

RaMSのログブックあるいは「情報処理センター」に充填や回収の情報を登録（記録）すると、書面による証明書の交付が不要となるのみならず、算定漏えい量は自動計算されて年度期初からの集計値も随時ご覧いただけます。また期末の漏えい量合計が1,000t-CO2以上となって国への報告が必要となった場合には、ボタン操作ひとつで定められた書式で算定漏えい量報告用資料が出力できる機能を備えております。

#### 一般的な報告書作成の流れ



#### RaMSによる報告書作成の流れ



- YouTube 日設連チャンネル 新着情報
- ご利用者様の導入事例を掲載しました
- 平成27（2015）年度フロン類算定漏えい量の集計結果が公表
- よくある質問（FAQ）
- 導入事例ご紹介
- RaMS（冷凍管理システム）情報処理センターサイトへ
- フロン排出抑制法について
- フロン排出抑制法とは？





[メインメニューに戻る](#)

[CSV作成](#)

### ● 管理者・廃棄者統括部署情報一覧

漏れ量

漏れ年度

下表に示す各部署の算定漏れ量には、紙面による充填、回収證明書として交付された  
充填、回収量データから算定された漏れ量は含まれませんのでご注意ください。

| No | 支社名              | 区分            | 累系漏れ量<br>940.14 | 算定漏れ量<br>384.54 | 住所              |
|----|------------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1  | 日本冷媒 関東支社        | 管理者・廃棄者(統括部署) | 706.19          | 287.00          | 東京都港区海浜5-5      |
|    | 日本冷媒(株) 東京営業所    | 管理者・廃棄者       | 145.55          | 57.10           | 東京都千代田区千代田1-1-1 |
|    | 日本冷媒 関東支社 千葉営業所  | 管理者・廃棄者       | 117.77          | 0.00            | 千葉県千葉市中央区中央     |
|    | 日本冷媒 関東支社 港営業所   | 管理者・廃棄者       | 139.36          | 89.20           | 東京都港区芝公園        |
|    | 日本冷媒 関東支社 神奈川営業所 | 管理者・廃棄者       | 303.51          | 140.70          | 横浜市西区高倉2-2      |
| 2  | 日本冷媒 関西支社        | 管理者・廃棄者(統括部署) | 239.95          | 97.54           | 大阪市北区梅田1-1      |
|    | 日本冷媒 関西支社 中之島営業所 | 管理者・廃棄者       | 66.90           | 66.90           | 大阪府大阪市北区中之島     |
|    | 日本冷媒 関西支社 京都営業所  | 管理者・廃棄者       | 82.31           | 30.64           | 京都市下京区高倉町1      |
|    | 日本冷媒 関西支社 神戸営業所  | 管理者・廃棄者       | 84.74           | 0.00            | 兵庫県神戸市中央区北野町    |

表1 「冷凍空調機器を使用する事業者（管理者）」向け説明会開催結果

| 回  | 実施日    |   | 実施都市 | 実施会場                    | 講師    |       | 募集<br>定員数 | 参加<br>申込者数 | 参加者数 | 参加率  |
|----|--------|---|------|-------------------------|-------|-------|-----------|------------|------|------|
|    |        |   |      |                         | 法概要   | 対応実務  |           |            |      |      |
| 1  | 9月26日  | 金 | 東京   | 機械振興会館                  | 経産省米野 | 高島    | 200       | 139        | 131  | 94%  |
| 2  | 10月2日  | 日 | 仙台   | 仙都会館                    | 経産省谷  | 作井、上村 | 87        | 42         | 34   | 81%  |
| 3  | 10月3日  | 月 | 郡山   | 郡山商工会議所                 | 経産省谷  | 作井、上村 | 100       | 35         | 30   | 86%  |
| 4  | 10月14日 | 金 | 浜松   | サーラシティ浜松                | 経産省高橋 | 高島    | 100       | 38         | 32   | 84%  |
| 5  | 10月15日 | 土 | 名古屋  | 愛知県産業労働センター<br>ウインクあいち  | 経産省高橋 | 高島    | 78        | 47         | 40   | 85%  |
| 6  | 10月21日 | 金 | 富山   | ポルフォートとやま               | 経産省出戸 | 作井、森川 | 88        | 37         | 31   | 84%  |
| 7  | 10月22日 | 土 | 金沢   | 金沢勤労者プラザ                | 経産省出戸 | 作井、森川 | 81        | 68         | 72   | 106% |
| 8  | 10月25日 | 火 | 前橋   | 協同組合<br>前橋問屋センター        | 経産省谷  | 上村    | 90        | 43         | 42   | 98%  |
| 9  | 10月26日 | 水 | さいたま | 大宮ソニックシティ               | 経産省立柳 | 水田    | 90        | 89         | 69   | 78%  |
| 10 | 10月26日 | 水 | 千葉   | 千葉商工会議所                 | 経産省出戸 | 上村、森川 | 87        | 29         | 24   | 83%  |
| 11 | 11月1日  | 火 | つくば  | つくば国際会議場                | 経産省立柳 | 水田    | 100       | 47         | 38   | 81%  |
| 12 | 11月7日  | 月 | 旭川   | 道北経済センター<br>(旭川商工会議所)   | 経産省出戸 | 高島    | 100       | 32         | 27   | 84%  |
| 13 | 11月8日  | 火 | 札幌   | 札幌駅前ビジネススペース            | 経産省出戸 | 高島    | 90        | 70         | 64   | 91%  |
| 14 | 11月14日 | 月 | 岡山   | 岡山国際交流センター              | 経産省谷  | 上村、森川 | 115       | 84         | 69   | 82%  |
| 15 | 11月15日 | 火 | 広島   | RCC文化センター               | 経産省谷  | 上村、森川 | 78        | 78         | 70   | 90%  |
| 16 | 11月15日 | 火 | 福岡   | A.R.Kビル                 | 経産省谷  | 上村、森川 | 105       | 105        | 89   | 85%  |
| 17 | 11月16日 | 水 | 東京   | 機械振興会館                  | 環境省池松 | 外山    | 200       | 200        | 164  | 82%  |
| 18 | 11月21日 | 月 | 京都   | 京都府立総合社会福祉会館<br>ハートピア京都 | 環境省池松 | 作井    | 96        | 93         | 86   | 92%  |
| 19 | 11月22日 | 火 | 神戸   | 神戸市産業振興センター             | 環境省池松 | 作井    | 105       | 105        | 99   | 94%  |
| 20 | 11月22日 | 火 | 大阪   | 新大阪丸ビル別館                | 環境省池松 | 作井    | 126       | 125        | 102  | 82%  |
| 21 | 11月29日 | 火 | 鹿児島  | 天文館ビジョンホール              | 環境省齋藤 | 外山、高島 | 135       | 40         | 27   | 68%  |
| 22 | 11月30日 | 水 | 那覇   | 沖縄県青年会館                 | 環境省齋藤 | 外山、高島 | 115       | 70         | 59   | 84%  |
| 23 | 12月6日  | 火 | 横浜   | かながわ労働プラザ               | 環境省島居 | 大沢    | 90        | 88         | 65   | 74%  |
| 24 | 12月12日 | 月 | 青森   | 青森県観光物産館<br>アスパム        | 環境省齋藤 | 作井、上村 | 80        | 79         | 72   | 91%  |
| 25 | 12月12日 | 月 | 東京   | 機械振興会館                  | 環境省島居 | 高島    | 200       | 62         | 56   | 90%  |
| 26 | 12月19日 | 月 | 盛岡   | マリオス<br>盛岡地域交流センター      | 経産省谷  | 水田    | 100       | 40         | 33   | 83%  |
| 27 | 12月20日 | 火 | 秋田   | 秋田県民会館ジョイナス             | 経産省谷  | 水田    | 88        | 86         | 84   | 98%  |
| 28 | 1月16日  | 火 | 神戸   | 神戸市産業振興センター             | 経産省谷  | 上村    | 105       | 104        | 89   | 86%  |
| 29 | 1月17日  | 水 | 大阪   | マイドームおおさか               | 経産省谷  | 上村    | 105       | 123        | 107  | 87%  |
| 30 | 1月19日  | 木 | 大宮   | 大宮ソニックシティ               | 環境省島居 | 水田    | 95        | 95         | 80   | 84%  |
| 31 | 1月23日  | 月 | 広島   | RCC文化センター               | 経産省出戸 | 作井、森川 | 75        | 74         | 64   | 86%  |
| 32 | 1月24日  | 火 | 佐賀   | 佐賀市市民活動プラザ              | 経産省出戸 | 作井、森川 | 100       | 95         | 86   | 91%  |
| 33 | 1月26日  | 木 | 横浜   | 横浜商工会議所                 | 経産省立柳 | 高島    | 130       | 129        | 99   | 77%  |
| 34 | 1月31日  | 火 | 東京   | 機械振興会館                  | 経産省立柳 | 外山    | 230       | 227        | 181  | 80%  |
| 35 | 2月2日   | 木 | 仙台   | 仙都会館                    | 経産省出戸 | 上村    | 80        | 79         | 63   | 80%  |
| 36 | 2月8日   | 水 | 福岡   | 八重洲博多ビル                 | 経産省谷  | 作井、高島 | 100       | 87         | 69   | 79%  |
| 37 | 2月13日  | 月 | 名古屋  | 愛知県産業労働センター<br>ウインクあいち  | 環境省島居 | 上村、森川 | 80        | 77         | 55   | 71%  |
| 38 | 2月20日  | 月 | 京都   | 京都府民総合交流プラザ<br>京都テルサ    | 環境省池松 | 作井    | 100       | 64         | 46   | 72%  |
| 39 | 2月21日  | 火 | 大阪   | 新大阪丸ビル新館                | 経産省出戸 | 作井    | 100       | 87         | 69   | 79%  |
| 40 | 2月27日  | 月 | 東京   | 機械振興会館                  | 環境省齋藤 | 作井    | 230       | 230        | 162  | 70%  |
| 41 | 2月28日  | 火 | 東京   | 機械振興会館                  | 経産省立柳 | 上村    | 200       | 64         | 48   | 75%  |
|    |        |   | 計    |                         |       |       | 4654      | 3506       | 2927 | 83%  |

※参加率＝参加者数／参加申込者数

表2 「業種・団体別」説明会開催結果

| 回  | 実施日         |   | 実施都市 | 申込団体(実施会場)                            | 申込担当       | 講師        | 参加者数 | 資料送付<br>部数 |
|----|-------------|---|------|---------------------------------------|------------|-----------|------|------------|
| 1  | 11月17日      | 木 | 岡山   | 岡山県 環境企画課<br>(岡山県備前県民局 会議棟2階 第1会議室)   | 森上         | 作井        | 43   | 100        |
| 2  | 11月10日      | 火 | 津山   | 岡山県 環境企画課<br>(岡山県美作局 大会議室)            | 森上         | 上村        | 21   | 30         |
| 3  | 12月5日       | 月 | 東京   | 一般社団法人日本分析機器工業会(社内会議室)                | 総務Gr<br>近藤 | 上村        | 28   | 70         |
| 4  | 12月13日      | 火 | 東京   | 日本冷凍空調工業会(日立愛宕別館)                     | 浜辺         | 日冷工<br>松田 | 80   | 70         |
| 5  | 12月14日      | 水 | 東京   | 農林中央金庫 目黒分室                           | 藤室         | 上村        | 33   | 35         |
| 6  | 12月20日      | 火 | 岡山   | 岡山県 環境企画課<br>(岡山県備前県民局 会議棟2階 第1会議室)   | 森上         | 上村        | 29   | 0          |
| 7  | 12月21日      | 水 | 倉敷   | 岡山県 環境企画課<br>(岡山県備中県民局 会議室 第1.2.3会議室) | 森上         | 上村        | 38   | 40         |
| 8  | 12月21日      | 水 | 東京   | イオンデライト株式会社(社内会議室)                    | 福澤         | 作井、外山     | 40   | 60         |
| 9  | 1月12日<br>午前 | 木 | 津    | 三重県 環境生活部地球温暖化対策課<br>(三重県合同ビル3階 G301) | 三井         | 上村        | 51   | 80         |
| 10 | 1月12日<br>午後 | 木 | 津    | 三重県 環境生活部地球温暖化対策課<br>(三重県合同ビル3階 G301) | 三井         | 上村        | 81   | 80         |
| 11 | 1月16日       | 月 | 松山   | 愛媛県 県民環境部環境局環境政策課<br>(県庁第一別館11階 大会議室) | 大和田        | 高島        | 68   | 100        |
| 12 | 1月18日       | 水 | 東京   | 株式会社Y-zen(船井総研東京本社)                   | 南山         | 外山        | 40   | 40         |
| 13 | 1月19日       | 木 | 青森   | 一般社団法人青森県解体工事業協会<br>(ウエディングプラザアラスカ)   | 土岐         | 作井        | 55   | 100        |
| 14 | 1月23日       | 月 | 大阪   | 株式会社Y-zen(船井総研淀屋橋セミナープレイス)            | 南山         | 外山        | 20   | 20         |
| 15 | 1月26日       | 木 | 東京   | 株式会社 シジジージャパン<br>(住友不動産西新宿ビル)         | 高橋         | 作井、外山     | 33   | 50         |
| 16 | 1月30日       | 月 | 松江   | 島根県 環境生活部環境政策課<br>(島根県松江合同庁舎 講堂)      | 五明田        | 作井        | 150  | 200        |
| 17 | 1月30日       | 月 | 東京   | 日本データセンター協会(三菱総研 大会議室)                | 高橋         | 上村        | 20   | 40         |
| 18 | 2月2日        | 木 | 東京   | 三菱電機株式会社(社内会議室(大船))                   | 吉田         | 作井        | 88   | 100        |
| 19 | 2月3日        | 金 | 青森   | 青森県 環境政策課(アピオあおもり 大研修室2)              | 小山田        | 上村        | 75   | 120        |
| 20 | 2月6日        | 月 | 大阪   | 三菱電機株式会社(社内会議室)                       | 吉田         | 作井        | 99   | 110        |
| 21 | 2月10日       | 水 | 大阪   | イオンデライト株式会社(社内会議室)                    | 福澤         | 外山        | 45   | 60         |
| 22 | 2月21日       | 火 | 東京   | 一般社団法人日本電化協会(全国家電会館内)                 | 坪井         | 作井        | 63   | 80         |
|    |             |   | 計    |                                       |            |           | 1200 | 1585       |



## 平成28年度フロン類算定漏えい量報告・公表制度 説明会

| 都市          | 開催日時                      | 会場                              |
|-------------|---------------------------|---------------------------------|
| 名古屋         | 平成28年5月18日(水) 13:30~15:30 | アイリス愛知 コスモス                     |
| 大阪<br>[第1回] | 平成28年5月19日(木) 10:00~12:00 | 国民會館 武藤記念ホール                    |
| 大阪<br>[第2回] | 平成28年5月19日(木) 14:00~16:00 |                                 |
| 東京<br>[第1回] | 平成28年5月23日(月) 10:00~12:00 | 全日通霞が関ビルディング<br>8階 大会議室         |
| 東京<br>[第2回] | 平成28年5月23日(月) 14:00~16:00 |                                 |
| 福岡          | 平成28年5月25日(水) 13:30~15:30 | 八重洲博多ビル<br>11F ホール              |
| 広島          | 平成28年5月26日(木) 13:30~15:30 | 広島YMCAホール2号館<br>地下1F コンベンションホール |
| 仙台          | 平成28年5月31日(火) 13:30~15:30 | 仙台国際センター 会議棟<br>3F 中会議室         |
| 東京<br>[第3回] | 平成28年6月1日(水) 10:00~12:00  | 全国都市会館<br>2F 全国市長会館大ホール         |
| 東京<br>[第4回] | 平成28年6月1日(水) 14:00~16:00  |                                 |

**TRK**

平成28年10月1日発行

一般社団法人 東京都冷凍空調設備協会

# 東冷協だより

2016. **10**  
No.369

● 目次

- ・ 今、思うこと ..... 1
- ・ お知らせ ..... 2
- ・ サロン ..... 12
- ・ 技術レポート ..... 13
- ・ リレー訪問 ..... 18
- ・ 委員会報告 ..... 19
- ・ 行事報告 ..... 25
- ・ 東冷協日誌 ..... 27
- ・ 行事予定 ..... 27
- ・ Rereview! 豆知識 ..... 29
- ・ 税のコラム ..... 30
- ・ 法のコラム ..... 31
- ・ 新聞記事情報 ..... 32
- ・ 会員の動向 ..... 33





フロン類や機器の管理でお困りではありませんか？

## JRECO 冷媒管理システム

ラムズ

# RaMS

Refrigerant Management System

「フロン排出抑制法」に基づき、国から唯一指定された情報処理センター

ご利用の場合は書面での充填証明書・回収証明書の交付が不要です。

「フロン排出抑制法」に基づく「フロン類算定漏えい量」等は、国への報告義務があります。

「RaMS」を利用すれば、ISO14001 遵守に対応できます。

システム導入前  
の書類提出

書類が多くて  
間に合わないよ～



システム導入後  
の書類提出

ワンクリックで  
ラクラク報告！



このシステム導入で、多くの皆さまにご好評をいただいております。

2015年施行の「フロン排出抑制法」により、管理者の報告管理も増大しています。JRECO が運用する、国が指定した唯一の「情報処理センター」と連動した、冷媒管理システム「RaMS (ラムズ)」を利用すれば、簡易点検・定期点検の時期が色分けで表示されますので、管理者ばかりでなく、充填回収業者による顧客管理にも最適です。また、それぞれが国や都道府県に提出する報告書の作成もワンクリックで簡単に出力できます。これで、「フロン排出抑制法」により義務付けられた遵守事項を効率的にクリアし、御社の業務効率も大幅に改善できます。

国指定のフォーマットで  
報告書の出力・保存が

できる！

算定漏えい量の計算や点検  
情報がリアルタイムで確認でき、  
全ての設置機器が一括管理

できる！

管理者・充填回収業者、双方の  
やりとりがシステム上で管理

できる！

JRECO「冷媒管理システム」は、国から指定を受けた唯一の「情報処理センター」でもあります。詳しくは **JRECO** で検索！



一般財団法人 **日本冷媒・環境保全機構**  
Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 406-2  
電話：03-5733-5311 FAX：03-5733-5312  
<http://www.jreco.or.jp>



平成29年1月15日発行(毎月1回15日発行)第44巻 第1・2号 通巻503号 昭和50年7月4日第3種郵便物認可 ISSN 0285-5062

# 冷凍空調設備

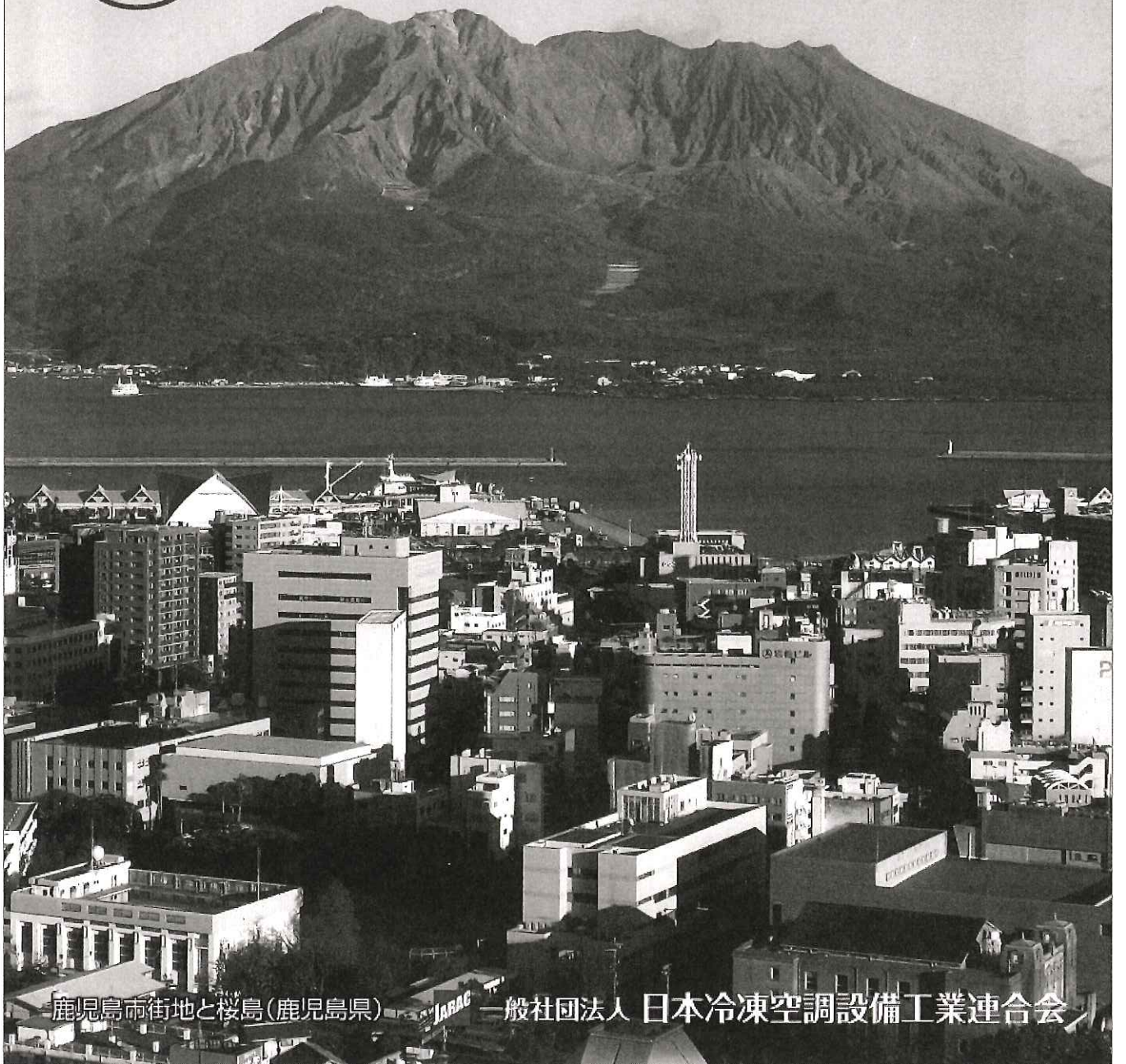
REFRIGERATION & AIR-CONDITIONING CONTRACTORS

1・2

Vol.44 No.1・2  
2017 January

年頭所感

平成27年度フロン類充填量・回収量等集計結果  
建築物エネルギー消費性能の向上に関する法律



鹿児島市街地と桜島(鹿児島県)

一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会



フロン類や機器の管理でお困りではありませんか？

## JRECO 冷媒管理システム

ラムズ

# RaMS

Refrigerant Management System

「フロン排出抑制法」に基づき、国から唯一指定された情報処理センター

ご利用の場合は書面での充填証明書・回収証明書の交付が不要です。

「フロン排出抑制法」に基づく「フロン類算定漏えい量」等は、国への報告義務があります。

「RaMS」を利用すれば、ISO14001 遵守に対応できます。

システム導入前  
の書類提出

書類が多くて  
間に合わないよ～



システム導入後  
の書類提出

ワンクリックで  
ラクラク報告！



このシステム導入で、多くの皆さまにご好評をいただいております。

2015年施行の「フロン排出抑制法」により、管理者の報告管理も増大しています。JRECOが運用する、国が指定した唯一の「情報処理センター」と連動した、冷媒管理システム「RaMS（ラムズ）」を利用すれば、簡易点検・定期点検の時期が色分けで表示されますので、管理者ばかりでなく、充填回収業者による顧客管理にも最適です。また、それぞれが国や都道府県に提出する報告書の作成もワンクリックで簡単に出力できます。これで、「フロン排出抑制法」により義務付けられた遵守事項を効率的にクリアし、御社の業務効率も大幅に改善できます。

国指定のフォーマットで  
報告書の出力・保存が  
できる！

算定漏えい量の計算や点検  
情報がリアルタイムで確認でき、  
全ての設置機器が一括管理  
できる！

管理者・充填回収業者、双方の  
やりとりがシステム上で管理  
できる！

JRECO「冷媒管理システム」は、国から指定を受けた唯一の「情報処理センター」でもあります。

詳しくは **JRECO** で検索！



一般財団法人 **日本冷媒・環境保全機構**  
Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 406-2  
電話：03-5733-5311 FAX：03-5733-5312  
<http://www.jreco.or.jp>









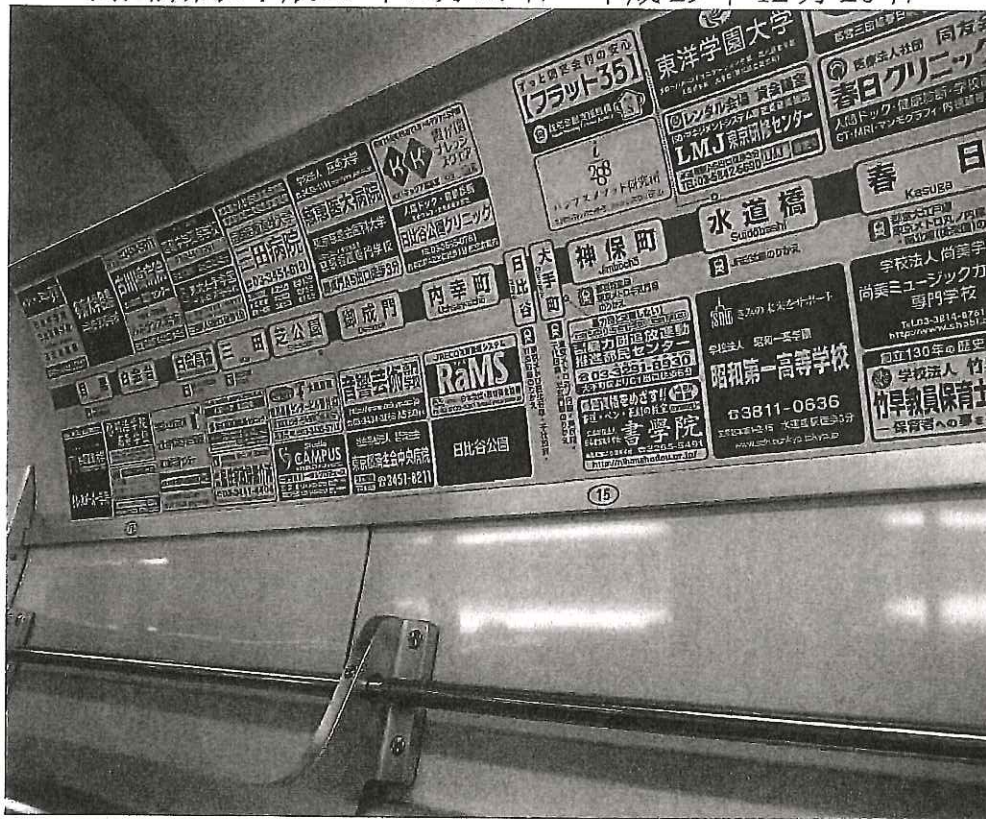






# 都営三田線沿線案内広告

掲出期間:平成29年2月27日~平成29年12月26日





# 収支決算書(平成28年度決算)

## (情報処理センター)

自 平成28年 4月 1日  
至 平成29年 3月31日

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

東京都港区芝公園3-5-8  
機械振興会館406-2

# 貸借対照表

平成29年 3月31日

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位:円)

| 科 目        | 平成28年度決算   |
|------------|------------|
| I 資産の部     |            |
| 1. 流動資産    |            |
| 現金預金       | 639,983    |
| 流動資産合計     | 639,983    |
| 2. 固定資産    |            |
| ソフトウェア     | 677,144    |
| 固定資産合計     | 677,144    |
| 資産合計       | 1,317,127  |
| II 負債の部    |            |
| 1. 流動負債    |            |
| 預り金        | 99,249     |
| その他        | 4,567,990  |
| 流動負債合計     | 4,667,239  |
| 負債合計       | 4,667,239  |
| III 正味財産の部 |            |
| 1. 指定正味財産  | 0          |
| 2. 一般正味財産  | -3,350,112 |
| 正味財産合計     | -3,350,112 |
| 負債及び正味財産合計 | 1,317,127  |

# 正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位:円)

| 科 目                  | 情報処理センター28年度決算 |
|----------------------|----------------|
| I 一般正味財産増減の部         |                |
| 1. 経常増減の部            |                |
| (1) 経常収益             |                |
| 事業収益                 | 383,292        |
| 経常収益計                | 383,292        |
| (2) 経常費用             |                |
| 事業費・管理費              |                |
| 人件費                  | 1,151,009      |
| 委託費(サーバー使用料、システム保守費) | 295,488        |
| システム開発引当金繰入額         | 0              |
| 減価償却費                | 323,328        |
| 賃借料(事務所費等)           | 134,428        |
| 旅費、交通費               | 88,711         |
| 通信運搬費                | 16,908         |
| 印刷製本費                | 68,696         |
| 広報費(パンフレット作成費)       | 78,494         |
| 銀行口座手数料              | 8,967          |
| 会議費・研修費              | 78,493         |
| 消耗品費・消耗什器備品・修繕費      | 14,971         |
| 租税公課その他              | 239,913        |
| 経常費用計                | 2,499,406      |
| 評価損益等調整前当期経常増減額      | -2,116,114     |
| 評価損益等計               | 0              |
| 当期経常増減額              | -2,116,114     |
| 2. 経常外増減の部           |                |
| (1) 経常外収益            |                |
| 経常外収益計               | 0              |
| (2) 経常外費用            |                |
| 経常外費用計               | 0              |
| 税引前当期一般正味財産増減額       | -2,116,114     |
| 法人税・住民税及び事業税         | 0              |
| 当期一般正味財産増減額          | -2,116,114     |
| 一般正味財産期首残高           | -1,233,998     |
| 一般正味財産期末残高           | -3,350,112     |
| II 指定正味財産増減の部        |                |
| 当期指定正味財産増減額          | 0              |
| III 正味財産期末残高         | -3,350,112     |